

平成30年度第4回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 平成31年2月7日（木） 午後3時～午後5時05分
- 開催場所 府中市役所北庁舎 第2会議室
- 出席委員 9名
都留会長、秋山副会長、加藤委員、金子委員、小出委員、齋藤委員、鈴木委員、徳田委員、中島委員
- 欠席委員 3名
小野満委員、森委員、森田委員
- 出席説明員等
遠藤政策総務部長、矢ヶ崎政策課長、岡村政策課副主幹、桜田理事、奥主任
- 傍聴者 0名
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 審議事項
 - (1) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価について
（対象：平成29年度）
 - (2) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価について
（地方創生関連交付金対象事業、対象：平成29年度）
 - 3 その他

■ 会 議 録 (要旨)

○会 長 ただいまから、平成30年度第4回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を始めます。本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

○事務局 (出席状況の報告)

○会 長 傍聴希望について、事務局から状況報告をお願いします。

○事務局 本日は傍聴者なしでございます。

○会 長 それでは、本日は傍聴者なしということになります。
本日の配布資料について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 本日配布した資料について説明いたします。

(配布資料の確認・説明)

【審議事項】

○会 長 次第の2「審議事項」、「(1) 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況の評価について(対象：平成29年度)」について、委員の皆様には、事務局から事前に送付されました資料1の評価票において、担当課が記載した内容を確認し、協議会の評価の欄にコメントを記載していただいています。

前回の会議と同様に、記載していただいた内容をもとに、担当委員から施策ごとに、その評価や意見についてご発言いただき、その後に他の委員からご意見などをいただくといった流れで進めていきたいと思えます。

それでは、施策名「市内企業の経営支援」から始めたいと思えます。担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 協議会評価は「B」としております。KPI①については、目標値300件に対して実績値243件であり、目標値に対して非常に少ない実績値となっています。毎年度、実績値が落ちている点からKPI評価は「C」が妥当だと思えます。参考資料については、融資の概要となっていますが、実際に融資を申し込んでいる個人または法人のニーズに即した内容になっているか

などの検証が必要になると考えています。非常に実績値が落ちているので、状況としては危機感があります。

また、K P I ②については、目標値32件に対して実績値29件で前年度1件減となり、目標値には達していませんが、誤差の範囲と考えており、K P I 評価は「A」または「B」が妥当だと考えております。ただし、担当課のコメントでは細かい情報がありませんので、実績値のみで評価しています。

K P I ③については、目標値470件に対して実績値462件であり、前年度から大幅に増加していますので、順調に進捗していると評価します。担当課のコメントとしては、相談窓口を商工会議所に移転しまして、相談拠点一元化を平成30年度から開始していますので、その点も鑑み、総合的には協議会評価「B」を提案させていただきます。

○会 長 他の委員から意見があればお願いします。

○委 員 K P I ①の実績値は減少していますが、融資は1回申請すれば、2・3回続けて融資を受けることができるかできないかで実績値の評価が変わってくると思いますがいかがでしょうか。

○副会長 基本的にはもう1回融資を受けることは可能です。ただし、条件がありまして、2口までは募集可能ですが、この融資は保証協会付きであり、業種ごとに保証協会の限度額がありますので、それに合わせて、もう一度融資を受けることができるかを判断することになります。1回融資を受けると、その分を返済しないとイケませんので、融資を受けるとしても2・3年を目安として、例えば、500万円のうち、半分の250万円を返済した後に、また融資を受けることもあります。

○委 員 融資を受けるのは、企業だけでなく、個人も可能ですか。

○副会長 個人事業所でも可能です。

○委 員 K P I の評価について、企業や個人事業主が増えているなかで融資が増えていない場合は単に減少しているといえますが、企業や個人事業主が横ばいまたは減っているなかで融資件数が減っている場合については、2・3年後にもう1回融資を受けなくても運営できており、落ち着いているという解釈もできると思いますので、K P I の増減だけで評価が難しいと思います。この内容を協議会評価に意見として含めてもよいと思います。

○副会長 この融資は以前から府中市が行っている事業ですが、近年では創業件数は増えています。創業については府中市だけでなく、多摩信用金庫などの金融機関や日本政策金融公庫なども力を入れていますし、現状、様々な融資を行っています。企業や個人事業主にとっては、選択肢が広がっている状況ではありますが、府中市の融資はかなり低金利になっています。しかし、保証料がかかってきますので、他では保証料がない融資もあるため、総合的に融資を受ける方が判断しているものと思います。

○会 長 副会長からの説明に尽きるとは思いますが、担当委員としては融資実行件数の減少が止まっていないと評価しています。また、担当課評価については、記載内容の捉え方によっては、低金利政策が行われ、金融機関の融資も行われているのではないという印象を受けます。実際に企業を経営している、また、商工会議所でお客様の状況を見ている立場として、金融機関で融資が足りていると感じていますか。

○担当委員 個人的な感覚になりますが、必ずしも足りているとは言えないと感じています。一方で、実績値が減少していくことは仕方がないと思いますので、K P I の目標値が実態と乖離しているのではないかと感じています。

○会 長 この融資は保証料を必要としています。金融機関のほうが府中市より審査が厳しいと思いますがいかがでしょうか。

○委 員 K P I として融資実行件数を定めているため、件数が減少することはよいと感じておりません。事業所の減少や、新規の取組ができないことにより件数が減っているのであれば問題だと思います。金融機関が融資に力を入れており、事業所数が減っているなかで、創業や新規の取組が増えていかないといけないと感じていますので、融資実行件数が減っていくことがしょうがないとは考えられません。

K P I ②についても、商店街のイベントだけでなく、キャッシュレス対応や多言語化対応などで商店街を盛り上げていかないといけないと思います。事業者のニーズを把握して、資金面で支援していくことが必要だと感じています。

○会 長 これまでの委員からの発言を踏まえると、様々な背景はありますが、K P I と担当課の取組内容を踏まえ、記載いただいている担当委員の評価のとおりに思います。

○会 長 続いて、「多様な人材の就労支援」について、担当委員欠席のため、事務局から説明をお願いします。

○事務局 「多様な人材の就労支援」について説明)

○会 長 いきいきワーク府中の就職率が目標値に遠く及ばないので「C」評価となっています。担当課評価について、「都内でもトップレベルの実績」とありますが、K P Iの評価と齟齬があると感じますので、「トップレベルの実績があるものの」としたほうがよいと思います。

○委 員 「トップレベルの実績があるものの」とした場合に、「トップレベルの実績があるものの、就職率が低い。」のか、「就職率が低いがトップレベルの実績である。」のどちらかで内容が異なってくると思います。

○会 長 担当課に確認しないとわからないと思います。

他市において、いきいきワーク府中のような独自の職業相談があるのかによって記載内容が異なります。

○事務局 詳細は担当課に確認させていただきますが、本事業は東京都の補助金を活用している事業でございます。多摩26市のうち、数自治体でしか行っていない事業と聴いております。

また、K P Iが減少している要因につきましては、就職者数はほぼ横ばいですが、求職者数が増えていることによるものであり、平成28年度823人から29年度866人で43人増となっており、当初目標値を設定する際には、この求職者数が横ばいである前提で設定しております。K P Iについても他市と比較しても高い数値であると担当委員からは伺っております。

○会 長 事務局は担当課と調整をお願いしますが、求職者数が増加した内容を担当課評価に記載していただければ、協議会では質的評価ができると思います。

○事務局 他自治体の取組を紹介させていただきます。まず、立川市では商工会議所で無料職業相談を実施しており、平成29年度実績で、就職者数100人、求職者数818人、就職率12.2%となっております。三鷹市では「わくわくサポート三鷹」を実施しており、平成29年度実績で、就職者数101

人、求職者数840人、就職率12.0%となっております。これらの自治体と比較しましても、本市の就職率は高い数値となっております。また、東京都の評価におきましても、府中市はAランク、立川市・三鷹市はBランクとなっております。

○会 長 目標値が難しいものだと捉えるしかないと思います。担当課には記載内容の補足をお願いします。

○委 員 担当課評価は原則修正しないこととしていますので、協議会評価に記載するほうがよいと思います。

○会 長 担当課から資料を提供してもらい、事務局は担当委員と担当課と調整をお願いします。

○会 長 続いて、「地域の連携によるぎわいの創出」について、担当委員欠席のため、事務局から説明をお願いします。

○事務局 「地域の連携によるぎわいの創出」について説明

○会 長 K P Iについては、前年度と比較し、1万人程度増加していますが、いずれも東京競馬場で競馬が開催されていない日に計測したものです。

○委 員 K P Iの測定は年間で1日だけになっていますが、昨年度以前はいつ計測したのですか。

○事務局 測定につきましては、晴れの日、競馬場で競馬が開催されていない日、イベントが開催されていない日を条件としております。

○委 員 夏の暑い日や冬の寒い日に測定しても実績値は変わってくると思います。

平成29年度の計測日は「ル・シーニュ」がオープンしているので、実績値の増加に間違いはないと思います。

○事務局 平成28年度は9月4日に府中駅南口付近のけやき並木通りで、27年度は4月に計測したものでございます。

○委員 他の施策で府中駅の乗降客数をK P Iにしているので、うまく連携をとることができれば、分析してほしい。交通量の調査は時間もお金もかかるので、多く計測することはできないと思いますので、京王電鉄に情報を提供してもらってほしい。

○副会長 この施策に関連して、資料2の「市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業」において東京競馬場とのタイアップ事業について記載されており、様々な団体と連携されていますので、その点も含めて評価すべきだと思います。

○委員 齋藤委員の発言に関連しますが、平成30年度及び31年度のK P Iの測定については、基本的に9月下旬の休日に測定していただいたほうが、経年で評価しやすくなると思います。

○副会長 参考になりますが、ル・シーニュがオープンしたのは平成29年7月14日です。

○委員 オープニング効果で交通量が多くなったという考え方もできると思います。

○会長 昨年度は平成28年9月4日に府中駅南口付近で調査をしていますので、28年度は過小評価になっている可能性があり、それは大國魂神社のお客さんがカウントされていないかもしれませんし、ル・シーニュもオープンしていません。

○委員 平成28年度はル・シーニュが工事中のため、交通量が少なかったと昨年度の協議会で意見があったと思います。

○会長 私は知りませんでしたが、「FUCHU WORLD FESTIVAL」というイベントが開催されたことはご存知でしたか。

○委員 大学内で学生がイベントでダンスをしたりするという報告がありましたが、府中市内のイベントを学内で聞くことはあまりありません。

○委員 私は知りませんでした。

○会 長 もう少し宣伝を強化したほうが賑わいの創出につながると思います。

○会 長 続いて、「歴史や文化、スポーツに触れる機械の充実」について、担当委員欠席のため、事務局から説明をお願いします。

○事務局 （「歴史や文化、スポーツに触れる機械の充実」について説明）

○会 長 協議会評価の記載内容の語尾が「期待できる。」「努めてほしい。」と異なっていますので、最終的には事務局で調整をお願いします。

○会 長 続いて、「安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実」について、担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 K P I ①については平成28年度23, 887人から29年度50, 146人になり、大幅に増加しています。また、K P I ②については、27年度224件、28年度220件、29年度213件に減っていますので、評価としては現状値を維持していることから「A」としたものと捉えております。担当課評価としては、サイトのリニューアルとアプリの開始により、アクセス数の増加につながっていると思います。②については昨年度と同じ内容になります。※印については、各健診や教室について昨年度を維持していることが記載されています。①について、このサイトがあまり市民のサイトとリンクしておらず、サイトの内容に変化がありませんでした。アクセス数は増えましたが、相談事業にはつながらず、利用者がどのように利用しているのか疑問がありますので、利用者の役に立つようにこれから工夫をしてほしいと思います。②については、きめ細やかな産前産後のサポートをしていますが、前年度と比較し、213世帯に減っており、下がっている理由が担当課評価に記載されていないので、協議会評価としては「B」としました。産前産後サポート事業を行っている事業所は2か所だけで、貧困家庭も増えるなかで、もっときめ細やかな対応をするためにはもっと事業所を増やしていく必要があると思います。

○会 長 他の委員から意見はございますか。特に、K P I 評価がともに「A」、担当課評価「A」のなかで、協議会評価が「B」となっておりますが、いかがでしょうか。

○委 員 担当委員が懸念されている点を協議会評価に記載したほうがよいと感じました。ただし、K P I としては数値での評価になりますので、協議会評

価は「A」とした上で、現場に近い方の視点を踏まえると、先ほどの発言のような懸念があることを入れることが妥当でないかと考えます。

○担当委員 K P I ②の実績値が下がっていることの説明が担当課評価に記載されていれば、協議会評価も「A」でよいと思っていましたが、先ほどの発言を踏まえると、協議会評価を「A」とした上で、懸念点を記載する形で修正します。

○会 長 それでは、協議会評価を「A」とした上で、①及び②について加筆をお願いします。

○会 長 続いて、「防災・防犯体制の強化」について、担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 K P I ①について、目標値80%に対して実績値55.8%で評価「B」、K P I ②について、目標値450人に対して実績値374人で評価「A」となっており、担当課評価は「B」となっています。それを受けて、協議会評価は「B」としました。①については、地域ごとの取組や情報提供を行っているなど、評価はできますが、現状、市民の備えの意識が55.8%と年々低下しているのは問題であり、目標値80%の達成は難しいと考えます。先日、防災情報紙が全戸配布され、職場にも届いていましたが、そういう面では意識啓発に期待するとともに、更なる周知を期待したいと思う一方、このままで大丈夫なのかという心配があります。②については講習会に女性が増えたことは評価できますし、いざというときに力になる女性や若年層の参加を促し、さらに邁進してほしいと思います。目標値に対して、参加者数が微増になっていますが、講習会の回数を増やしたり、会場を変更するなど、受講者数を増やす工夫をしないと、目標値には届かないと感じ、記載させていただきました。記載内容を補足しますと、①については、小中学生がいる世帯では教育の一環で防災は話題になっていると思いますが、単身世帯など交流のない方のために、周知方法を工夫する必要があると考えます。例えば、府中市内には多くの駅がありますので、駅にポスターを掲示するなど、目につく手法を検討していただければ、もっとよくなると思います。②については、毎年度20人程度の参加者でするので、新たな発掘をしないといけないと思います。

○会 長 他の委員から意見はございますか。

○委員 K P I ②について、毎年度増加はしていますが、目標値450人に対して、「A」評価というのはどうなのでしょう。

○会長 同じく①についても、協議会で目標達成が難しいと評価しているなかで「B」評価というのは、事務局ではどのように考えますか。

○事務局 ご指摘いただきましたとおり、①については乖離が大きく、②についても、毎年度増加しているものの、このままでは目標の達成が厳しいと思いますので、協議会評価を踏まえて、担当課と調整してまいりたいと考えております。

○委員 担当課としては、毎年度実績値が増加しているので、順調に進捗していると判断していると思います。

○担当委員 実際に取り組をしていないわけではないので、理解できる部分はありますが、現状のままでよいと判断していることを危惧しており、担当課で工夫していることがあればよいと思います。例えば、若年層の参加には至っていませんが、そのために次に何かすることがあってもよいと思います。また、災害については、近年震災が起こっているのにもかかわらず、K P Iが上がっていないのは、府中市民は興味がないのかなと感じてしまいますので、少し違うアクションがあるとよいと思います。

○副会長 K P I ②について、「ながら見守り連携協定」をヤクルトなどと締結すると記載されていますが、この協定を締結すると地域安全リーダー講習の受講者数が増えるのでしょうか。

○担当委員 違うと思います。講習会は年1回しか実施していないので、回数を増やしたり、場所を変えたりしたほうがよいと思います。見守りはとても大事なので、意識を変えて講習の受講につながればよいと思います。

○副会長 私は地域の子どもに係る役員を担い、通学路などで見守りをしていますが、そのような活動と地域安全リーダーの活動はどう違うのか疑問です。

○会長 担当課評価に記載されている取組が巡り巡って地域安全リーダー講習会の受講につながっていくのでしょうか。

○事務局 担当課評価に記載している内容につきましては、「ながら見守り連携協定」を締結している企業等に地域安全リーダー講習会の受講を促すことで、参加者の増加につなげていきたいと考えております。また、記載はございませんが、安全に対して意識が高い、PTAの方々にも働きかけをしていると伺っております。

○担当委員 事務局の説明を聴くと、なおさら講習会の回数を増やしてもらいたい。

○会長 KPI①については、順調に進捗しているのか、概ね進捗しているのかは微妙だと思います。

○会長 続いて、「空き家などの活用」について、担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 施策概要としては「地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。」とありますが、KPIは「未実施」となっております。平成29年度は空家等対策計画を策定するとともに、東京都や調布市と連携して空き家のセミナーを開催しています。計画については、空き家の利活用に向けて、基本的な整理がされているので、今後につなげてもらいたい。しかし、コミュニティ事例に対しての取組が未実施ですので、評価にならない、評価できないと思います。協議会評価の最後の意見については、他市で実績があり、府中市でも同様に取組んでもらわないと評価にならないので、参考事例として記載しました。協議会評価は、具体的な取組がないので、「C」としました。

○会長 この施策については、担当課評価と協議会評価が異なるので慎重に議論したいと思います。

平成28年度のKPI評価について、空家等対策協議会が立ち上がり、取組が進んでいることから、「B」になっていると思います。担当委員としては、29年度も計画の策定やセミナーの開催などの取組を行っていますが、具体的なコミュニティ事例に対する取組を行っていないので、評価できないということだと思います。

○担当委員 空き家を所有しているの方々に対する取組は行っていますが、空き家を活用するための取組は全くないので、空き家を活用したい方々のニーズを捉えていかないと評価することはできません。

○会 長 担当委員としては、協議会評価は「C」としか考えられないということだと思えます。

○委 員 担当委員の発言のとおりだと思えますが、平成30年度の担当課の取組内容を見ると、空き家の利活用に関する相談窓口を活用することが記載されていますので、活用のニーズに対する取組を想定しているのではないかと考えます。担当課に考えを伝えるのであれば、協議会評価に記載したほうがよいと思えます。K P Iは「実施」が目標になっていますので、実施に向けた準備を進めていると考えれば、協議会評価としては「B」とした上で、担当委員が懸念している内容を協議会評価の意見として具体的に記載するほうがよいと思えます。

○担当委員 セミナーについて、空き家を所有している方への利活用については議論になっていましたが、空き家を活用したい方々のためのセミナーではなかったため、それだけでなければ、協議会評価は変わってくるかもしれません。

○委 員 総合戦略策定時は協議会が立ち上がっておらず、28年度に協議会を設置し、さらに29年度に計画を策定しており、全く何もしていなかったところから、ここまで取り組んでいることは評価したいと思います。空き家を利活用するためには、これらの取組が前提になると思えます。現状実施しているセミナーがオーナーのためのものとなっていますが、協議会評価としては、オーナー向けだけでなく、コンテンツも含めた両輪でやっていかないと取組が進まないということを協議会の意見として付記すればよいと思えます。

○事務局 平成28年度のK P I評価につきましては、昨年度の協議会で「B」から「C」に変更した経緯がございまして、28年度は「C」となりますので、お詫びして訂正いたします。

○会 長 平成28年度については、協議会の設置だけでは「C」評価としたようです。

29年度の協議会評価は「B」という意見がありました。多くは、所有者がお亡くなりになって空き家になりますが、新たな所有者にとって空き家は危険なので、まず相談したいと考え、それから利活用につながるものだと思います。そういう点を踏まえると、協議会評価としては「B」とし、意見として懸念している点を記載する形でいかがでしょうか。

○担当委員 協議会評価を「B」として、意見として記載したいと思います。

○会 長 事例で挙げられたリトルワングの活動範囲はご存知でしょうか。

○担当委員 東京周辺及び東京都で活動しています。

○会 長 それでは、協議会評価を「B」として、意見の加筆をお願いします。

○会 長 これで、全ての施策について審議が終わりました。

本日の審議内容に基づき、事務局は評価票の修正をお願いします。3月6日に開催予定の会議では、その評価票の最終確認作業を行い、本協議会としての評価や意見内容を確定させていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○会 長 次に、次第の2「審議事項」、「(2) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について（地方創生関連交付金対象事業、対象：平成29年度）」に移ります。

まず、資料2の1ページ「ラグビーのまち府中推進事業」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 （事務局より「ラグビーのまち府中推進事業」について説明）

○会 長 この施策については、委員からいただいた意見を事務局でまとめたものになりますが、いかがでしょうか。

○会 長 この施策については、交付金の対象事業ですが、K P I ①の目標設定については少し無理があると思います。目標値については変更することはできませんが、少し残念に思います。K P I ①以外については順調に進んでいると思います。

○委 員 目標値に達成しなければ、交付金を返還しないといけないのでしょうか。

○会 長 そういうわけではありませんが、交付金の申請に当たり、この目標値を設定しているわけです。商品開発については、それなりの企業でないと協力するのは難しいと思います。目標達成が難しい以上、指摘せざるを得ません。

○委員 協議会評価について、「安価に」という表現は削除してもよいと思います。お金をかけずに実施することで協力していただける企業も増えるという意味で捉えていただけたらよいと思いますので、「手軽に」や「特別な食材でない限り、協力店が増える可能性がある。」などの表現に修正をお願いします。

○会長 協議会としては、記載のような指摘になると思います。実績値を伸ばすためには勝負メシや選手オススメのメニューを増やすことが適当だと思います。

○副会長 商品開発には条件があったかと思います。ラグビーの形をしたものや芝生をイメージしたものなどに限定し、飲食店などに依頼しているので、企業としては難しいと思います。ラグビーの型を提供していただければ、商品は作れるかもしれませんが。選手が試合前に必ず食べる物などでよければ、ラグビーの形をしていなくてもよいかもしれません。

○委員 例えば、選手が勝負飯を食べている写真をポスターで貼っていれば、ラグビーを認知する人も増えますし、市内外にアピールすることができると思います。

○副会長 市では「ラグビーのまち府中」の冊子を配布しており、冊子には選手の勝負飯が紹介されていると思いますので、それをラグビー飯として位置付けたほうがよいと思います。

○事務局 市では「ラグビーのまち府中」を紹介する冊子を配布しております。そこには、選手がオススメする市内の飲食店とオススメ商品を紹介するページがあります。担当課としては、これをK P Iにはカウントしないこととしておりまして、ラグビーの形をした商品やラグビーのまち府中のロゴを使った商品をK P Iとしてカウントしています。

商品開発については販売までには至っておりませんが、ラグビーのまち府中のステッカーやピンバッジ、ネックストラップなどを作成しております。さらに、本年1月から出生届を提出した世帯にラグビーボールのプレゼントをしております。また、担当課からは市内の飲食店で商品開発の動きが出ているとの報告を受けております。

○会長 本日の議題はこれまでとします。本日、意見があった内容について

は事務局で修正し、次回以降の会議で確定したいと思います。

【その他】

○会 長 最後に「その他」として、委員の皆様から何かありますでしょうか。事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から2点ご連絡させていただきます。1点目は次回の会議は3月6日を予定しております。2点目は次回の議題につきまして、地方創生関連交付金2事業についての評価と、これまで評価いただいた施策の評価票について、修正した内容を確認していただきたいと考えております。

○会 長 以上をもちまして、平成30年度第4回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を閉会いたします。委員の皆様、お疲れ様でした。